# 大東　優愛

**高６２期**

**登美丘高校教員**

私が入学した 62 期生は唯一の定員割れの学年で、合格発表の際はドキドキ感が全くなかったのを今でも覚えています。そのことも含め、毎日の授業やテスト前に友達と居残りして勉強したこと、行事に真剣に取り組んだこと、すべて良い思い出になっています。とても楽しく充実した高校 3 年間を過ごすことができました。

そして登美丘高校に入って私にとっての最も大きな出来事は素敵な先生方に出会えたことです。数学の楽しさを教えていただき、とても親身になって接していただいた事がきっかけで私は教員になりたいと思うようになりました。そして現在そのきっかけを与えてくれた母校で数学教員として勤務させていただいています。

卒業してから 8 年が経ちましたが、登美丘高校は変わらず穏やかで、コロナ禍ではありますが生徒たちは高校生活を楽しもうと勉強や部活動、行事に一生懸命取り組んでいます。そんな生徒たちと一緒に過ごす日々はとても楽しく、私が大好きな行事も今は生徒をサポートする側の立場で携わることができ、毎年新たな思い出が増えていくことに喜びを感じています。授業や部活動、行事という様々な形で生徒と関わっていく中で、生徒の成長を見守る存在でありながら、私も生徒に成長させてもらっています。今の仕事にやりがいを感じ、教員になって良かったと心から思っていますし、先生方には本当に感謝しています。

登美丘高校も創立 100 周年を迎えるということで、これからの登美丘高校がますます発展していけるように、卒業生として、教員として少しでも力になれたらと思います。100 周年、本当におめでとうございます。

**■プロフィール**

1996 年 1 月 20 日生

2014 年 3 月　大阪府立登美丘高校　卒業

2018 年 3 月　関西大学　システム理工学部数学科　卒業

2018 年 4 月　大阪府立登美丘高等学校　勤務